

横浜市立永田小学校

人とのかわりを大切にする子 自分で考え行動する子 心身ともにたくましい子



学校だより 5月号

令和6年4月30日（家庭数配付）

あいさつにこめるもの

校長 広木 敬子

朝、校門を開け、一人ひとりに声をかけながら迎えています。おはよう、と言うと元気な声であいさつが返ってきます。私が違う方を向いていても、背中の方からも「おはようございます」と聞こえてきます。運営委員の子どもたちがアーチのように並んで迎える日は、まるで歌声のように気持ちよく響きます。こんなにもあいさつが身についているのは、保護者の皆さんや、地域に立ってくださっている「学援隊」の皆さんの見守りのおかげだと感じています。とても嬉しい朝のひとつです。

1年生は、初めは少し不安そうでしたが、日に日にあいさつの声も大きくなり、保護者の方と別れるときも「行ってきます」と元気に手を振ったりしています。子どもの力ってすごいですね。目の前で起こることを身体で感じ、学びに変えていくのです。子どもたちの声や姿にこちらが元気をもらう毎日です。

「おはようございます」を言い合うとき、それはたった一言ですし、一瞬のことなのですが、私は一人ひとりの顔を見て、こんな願いをこめています。

「今日1日、元気に過ごせますように」

「何か1つでも、楽しいことや良いことが起こりますように」

「ちゃんと家に帰って『ただいま』って言えますように」

世界に目を広げれば、この当たり前のような生活ができない子どもたちがいます。災害などに合い、辛い思いをしている子どももいます。

目の前の幸せに目を向け、あいさつで生まれるかわりをつないでいきます。そして子どもも大人も思い切りチャレンジでき、困ったときは相談しよう、みんなで何とかしよう、と思える学校をつくっていきます。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



全校のみんなで1年生を迎えました

☆5月の短歌☆

大きな輪 みんなでつくった まん中に あたたかいもの そこにあったね